

業界初<sup>※1</sup> 8K放送で採用されている音声フォーマット“MPEG-4 AAC”の「22.2ch音声入力」に対応  
立体音響再生技術「OPSODIS<sup>®</sup>」を採用し、臨場感あふれるサウンドを楽しめる

## 『AQUOS オーディオ』 <8A-C22CX1>を発売



シャープは、8K放送で採用されている音声フォーマット“MPEG-4 AAC”の「22.2ch音声入力」に業界で初めて対応し、臨場感あふれる立体音響を手軽に楽しめるシアターバーシステム『AQUOS オーディオ』<8A-C22CX1>を発売します。液晶テレビ『AQUOS 8K』<CX1ライン<sup>※2</sup>>と組み合わせることで、8K放送の22.2ch音声信号を最大限に活かした立体音響が体験できます。

8K放送で採用されている22.2マルチチャンネル音響は、前後左右に加え、上下方向にもチャンネルを配置することにより、まるでその場にいるような臨場感を味わうことができる3次元音響方式です。

本機は、音楽ホールやスタジオなどの建築音響分野で豊富な実績を持つ鹿島建設株式会社<sup>※3</sup> 技術研究所（以下、鹿島建設）と、音響技術分野で著名な英国サウサンプトン大学<sup>※4</sup> 音響振動研究所（以下、サウサンプトン大学）が共同開発した立体音響再生技術「OPSODIS（オプソーディス）」を採用しました。視聴者の前方に設置する本機のみで音を全方位に届け、前後・左右・上下の音場を創出します。8K放送の22.2ch音声信号のみならず、地上デジタル放送や4K放送の2ch/5.1ch音声信号などでも、独自の音声処理によって立体音響を実現。全身が音で包み込まれるような体験ができます。また、ドルビーラボラトリーズ<sup>※5</sup>が開発した立体音響技術「Dolby Atmos<sup>®</sup>（ドルビーアトモス）」に対応。さらに、3Wayスピーカーシステムと、各スピーカーを独立駆動する6chデジタルアンプを採用したことで、きめ細かな音場再生を実現しました。

『AQUOS 8K』のリモコンで本機の操作ができる便利な「AQUOSファミリンク」にも対応しています。

品名	愛称	形名	希望小売価格	発売日	当初月産台数
シアターバーシステム	AQUOS オーディオ	8A-C22CX1	オープン	2020年8月29日	500台

### ■ 主な特長

1. 業界初 8K放送で採用されている音声フォーマット“MPEG-4 AAC”の「22.2ch音声入力」に対応。『AQUOS 8K』<CX1ライン>と組み合わせて、8K放送の立体音響を手軽に楽しめる
2. 鹿島建設とサウサンプトン大学が共同開発した立体音響再生技術「OPSODIS」を採用
3. 3Wayスピーカーシステム、および独立駆動の6chデジタルアンプを採用
4. テレビのリモコンで簡単に操作できる「AQUOSファミリンク」に対応

- ※1 2020年6月26日現在、当社調べ。テレビと接続するシアターバーシステム/サウンドバーとして。  
 ※2 『AQUOS 8K』<8T-C70CX1/8T-C60CX1>が対象です。テレビの22.2ch対応には、テレビ本体のソフトウェアアップデートが必要な場合があります。  
 ※3 本社：東京都港区、代表取締役社長：押味至一  
 ※4 所在：英国サウサンプトン市、President and Vice-Chancellor：Professor Mark E. Smith  
 ※5 本社：米国カリフォルニア州、プレジデント兼CEO：ケビン・イエーマン

【 ホームページ 】 <https://corporate.jp.sharp/>（画像ダウンロード <https://corporate.jp.sharp/press/>）  
 【 本 社 】 〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地  
 【 お客様お問い合わせ先 】 お客様ご相談窓口 ☎ 0120-001-251

## ■ 主な特長

### 1. 業界初 8K放送で採用されている音声フォーマット“MPEG-4 AAC”の「22.2ch音声入力」に対応。 『AQUOS 8K』 <CX1ライン>と組み合わせて、8K放送の立体音響を手軽に楽しめる

8K放送で採用されている音声フォーマット“MPEG-4 AAC”の「22.2ch音声入力」に業界で初めて対応しました。液晶テレビ『AQUOS 8K』 <8T-C70CX1／8T-C60CX1>と組み合わせることで、テレビから22.2chのオリジナル信号を本機にそのまま入力できます。信号が持つ高音質特性を維持したまま音声処理ができるため、22.2ch信号を最大限に活かした立体音響を再現します。超高精細8K映像と立体音響で、より臨場感あふれる8K放送を手軽にお楽しみいただけます。



『AQUOS 8K』 <8T-C60CX1>との組み合わせ  
(効果はイメージです)

### 2. 鹿島建設とサウサンプトン大学が共同開発した立体音響再生技術「OPSODIS」を採用

音楽ホールやスタジオなどの建築音響分野で豊富な実績を持つ鹿島建設と音響技術分野で著名なサウサンプトン大学が共同開発した立体音響再生技術「OPSODIS」を採用しました。「OPSODIS」とは、視聴者の前方にスピーカーを設置するだけで、前後・左右・上下を含む360度の立体音響を創出する技術です。これにより、フロントスピーカーとサブウーハーのシンプルなシステムで、臨場感のある立体音響を実現します。音の左右の広がりや奥行き感、高低感により、まるでその場にいるかのような没入感が体験できます。また、8K放送の22.2ch音声信号のみならず、地上デジタル放送や4K放送の2ch/5.1ch音声信号などでも、独自の音声処理により立体音響を創り出します。



「OPSODIS」による立体音響の効果イメージ

### 3. 3Wayスピーカーシステム、および独立駆動の6chデジタルアンプを採用

高音・中音・低音を3種類のスピーカーでそれぞれ再生する3Wayスピーカーシステムと、各帯域のスピーカーを独立駆動する6chデジタルアンプを組み合わせることで、きめ細かな音場再生を実現します。



### 4. テレビのリモコンで簡単に操作できる「AQUOSファミリンク」に対応

『AQUOS 8K』などの当社製テレビのリモコンで本機を操作できます。電子番組表の番組情報を読み取り、視聴中の番組ジャンルに適したサウンドモードを自動で選択する「ジャンル連動」など、当社製テレビと合わせて使用することでさらに便利に楽しめます。

## ■ その他特長

### ・「Dolby Atmos」に対応

劇場用に開発された没入感あふれる立体的な音響が楽しめる音声フォーマット「Dolby Atmos」に対応。臨場感あふれる立体音響を実現します。



### ・「Dolby Vision® (ドルビービジョン)」パススルーに対応

HDMI入力された4K信号をそのままテレビに出力する4Kパススルーに加え、「Dolby Vision」のパススルーにも対応しました。



### ・高音質「ハイレゾ再生」に対応

USB端子に接続したUSBメモリなどからのハイレゾ音源 (WAV・FLAC, 192kHz/24bit) の再生に対応しています。



### ・新たにスポーツ観戦用の2種類のサウンドモードを搭載 (インドア/アウトドア)

映像に合わせて選べるサウンドモードは、テレビでのスポーツ観戦用として2種類を追加。室内競技場の反射音や残響音を再現する「インドア」モードと、スタジアムの臨場感を再現する「アウトドア」モードを搭載し、合計7種類のモードから選べるようになりました。

### ・人の声が聴き取りやすい「クリアボイス」機能を搭載

会話音声帯域を増幅することで、映画やドラマなどの人の声の聴き取りやすさがアップします。

## ■ 主な仕様

品名	シアターバーシステム
愛称	<b>AQUOS オーディオ</b>
形名	8A-C22CX1
総合出力	400W (フロントスピーカー125W+125W/サブウーハー150W、非同時駆動、JEITA※6)
外形寸法/本体質量	フロントスピーカー：幅1200×奥行140×高さ69mm/約4.5kg
	サブウーハー：幅261×奥行261×高さ337mm/約7.2kg
使用電源	AC100V 50/60Hz
定格電圧/消費電力(待機時)	フロントスピーカー：100V/約48W (約0.4W)
	サブウーハー：100V/約29W (約0.4W)
音声入力端子	デジタル外部入力：HDMI入力×1 (映像入力兼用)、角形光入力×1 アナログ外部入力：ステレオミニジャック×1
音声出力端子	デジタル外部出力：HDMI (ARC) 出力×1 (映像出力兼用、4Kまで対応)
無線通信方式	Bluetooth 4.0 + EDR A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)、 AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)
付属品	リモコン、単4乾電池×2本、光デジタル音声ケーブル、 サブウーハークッション×4、フロントスピーカー用ロングスタンド×4、 リモコンリピーターケーブル×1、取扱説明書、保証書

※6 実用最大出力は、JEITA (電子情報技術産業協会) 規格による測定値です。

- Opsodis is a Trade Mark used under license by Opsodis Ltd.
- Dolby、ドルビー、Dolby Atmos、Dolby Audio、Dolby Vision およびダブルD 記号はドルビーラボラトリーの商標または登録商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。
- シャープ株式会社は、日本オーディオ協会のハイレゾ定義に準拠した製品に「Hi-ResAudio」ロゴを冠して推奨しています。ロゴは登録商標です。

本製品に関する情報は、以下のウェブサイトでもご覧いただけます。

<https://jp.sharp/aquos-audio/>

「OPSODIS」に関する情報は、鹿島建設株式会社 技術研究所の  
ホームページ内の「お知らせ」でご覧いただけます。

<https://www.kajima.co.jp/tech/katri/>